

★今週の聖句

「人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」
ヨハネによる福音書 3:3

★ねらい

- ・「新たに生まれる」とは洗礼を意味していることを学び、洗礼がもたらす恵みを伝える。

★説教作成のポイント

- ・ニコデモという人に焦点をあて、彼に悪意がないこと、しかしイエスの言葉を受け止めることができなかったことなどを確認し、イエス様の言葉に受け止める側の資格などはまったくないことを知るとき、私たちはニコデモにもなりうるし、そうでない者にもなりうることを知らされる。

★豆知識

- ・ニコデモは 19:39 にも登場する。
- ・8節の「風」はギリシア語で「 pneuma 」といい「霊」という意味もある。

★説教

今日読んだ聖書にはニコデモさんというおじさんが登場しました。ニコデモさんはきっとまじめなおじさんだったと思います。聖書の専門家でしたし、ユダヤの政治家さんでもあったようです。

「この中にまじめな人はいますか？自分がまじめで勉強できている人手をあげて。」

そう、みんなと同じように（みんなとは違って）、ニコデモさんもまじめな人でした。そしてきっと、色んな事を考えたり、知りたいという思いも人一倍あったと思います。そんなニコデモさん、きっと前からイエス様とお話がしたかったんだと思います。だってイエス様は結婚式で水をぶどう酒に変えたり、エルサレムの神殿であばれたり、みんながびっくりするような神さまの教えをお話したり、超有名人だったからです。ニコデモさんはイエス様について知りたかったんだと思います。またイエス様に聞きたいことがあったんだと思います。でもニコデモさんの友だちの中にはイエス様のことを悪く言う人たちが多くいたので、その人たちにばれるのが嫌だったのか、ニコデモさんは夜、一人でイエス様のもとをたずねたのです。さて、ニコデモさんは何を知りたかったんだと思いますか？

さあ、ここで聖書を持っている人は今日の聖書のヨハネによる福音書3章のちょっと前、2章25節の最後の文章を見てください、何て書いてありましたか？そうですね「イエスは、何が人間の心の中にあるかをよく知っておられたのである。」と書いてありましたね。そうなんです、イエス様はニコデモさんの心に何があるのか？ニコデモさんが何を知りたがっているのか？もう知っていました。だから突然とも思えるような返事をニコデモさんにしたんです。「はっきり言っておく。人は、新たに生まれなければ、神の国を見ることはできない。」

さて、このイエス様のお返事からニコデモさんが何を知りたかったかわかりますか？

うーん、ちょっと難しいですかね。答えはこれです（リボンを見せる）。これが何かわかりますか？そう「リボン」ですね、答えはリボン、英語で書くと reborn（紙に書いたものを見せる）、再び生まれる（reborn の下に書いて折って隠しておいたところを見せて言う）という意味です。ニコデモさんは「人が再び生まれる」ことについて知りたかったんです。そしてイエス様はニコデモさんにちゃんと教えてあげました。『再び生まれる』ということは、イエス様を信じて洗礼を受けることですよ、水と霊によって洗礼を受けるということは、たった一人で生きてきたこれまでの生き方を止め、イエス様と共に生きていくということ、新しい生き方を生きるということなんですよ。」

さて、ニコデモさんはちゃんとわかったのでしょうか？残念ながら聖書にはニコデモさんがわかったかどうかは書いてありません。でもみなさんはどうですか？ニコデモさんが知りたがっていた「新しく生まれる」ということが「洗礼」だったということがわかりましたね、みなさんも「イエス様と一

緒に生きて行きたい」と思ったときは、洗礼について考えてみてください、そして牧師先生に相談してくださいね。

★分級への展開

さんびしよう

*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

142番

改訂版20番

やってみよう

◎ ニコデモさんについて調べてみよう!! ~聖書を開いてよく読んで~

- ① ニコデモさんは（ ）派に属する
ユダヤ人の人たちの（ ）だった。
- ② ニコデモさんは いつ イエスさまと会いましたか？
（ ）
- ③ イエスさまを 何と 呼びましたか？（ ）
- ④ イエスさまは ニコデモさんに 何と 言ったでしょう。
（ ）
声に出して 言ってみましょう。
- ⑤ ニコデモさんは ヨハネ福音書では あと 2回 出てきます。
1つは 7章（ ）節。
もう1つは イエスさまの十字架のところ（ ）章（ ）節。



神さまがくださる風を受けて私たちは生きています。
しゃぼん玉をして風をたくさん感じて遊みましょう。
※子どもが石けん水を飲み込まないように注意しましょう。

はなそう

- ・生まれ変わりたいと思ったことある？それは何故？どんな時？
- ・洗礼を受けた人に、洗礼を受けて何が変わったか聞いてみよう。

★今週の聖句

「わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、
罪人を招くためである。」 マルコによる福音書 2:17

★ねらい

- ・イエス様が弱くされた人、弱い人のために来られた＝すべての人のために来られたことを知る。

★説教作成のポイント

- ・世の中で弱くされた人とはどんな人か？自分の中の弱いところはどこか？そもそも弱くない人はいるか？イエス様を必要としない人はいるか？考える。

★豆知識

- ・「徴税人」…イエス様の時代のイスラエルはローマ帝国の支配下にあり、ローマに税金を支払わなければならなかった。徴税人は一般の人から軽蔑され、ファリサイ派や律法学者たちからは「罪人」と同じような扱いを受けていた。
- ・食事を共にすることは「心」を同じくする者たちの深い交わりのしるしでもあった。

★説教

みなさんの中で病院に行ったことがある人？手をあげて。ではその人たちは何で病院に行ったのか教えてください（一人ひとり順番に聞いていく）。なるほど、みんな色んな怪我をしたり、病気にかかったことがあるんですね。では〇〇さん、なぜ風邪をひいたときに靴屋さんに行かずに内科の病院に行ったんですか？●●さん、なぜ足の骨を折ったときに耳鼻科ではなく外科の病院に行ったんですか？なるほど、そうですね。みなさんは「この病気にはこの病院」「この怪我にはこの病院」ということを知っているから、病気や怪我のときは帽子屋さんではなく病院に行くんですね。

さて、今日読んだ聖書にはイエス様が徴税人や罪人と一緒に食事をしたお話が書いてありました。そしてファリサイ派の律法学者が「どうして彼は徴税人や罪人と一緒に食事をするのか」と言ったとありますが、律法学者はなぜこんなことをイエス様のお弟子さんに聞いたのでしょうか？それはイエス様の時代、徴税人や罪人は神さまの目から見て「汚い」人たちとされ、もしその人たちと関わると自分たちが汚れてしまうと考えるそうでない人たちから仲間はずれにされていたからです。誰も神さまが本当はどう思っているのか何かわからないのに、自分たちで勝手に「汚い」のがうつると決めてしまったのです。みなさんも「バイキンがうつる～」と言ってお友達を仲間はずれにしたり、またされたりしたことはありませんか？それと同じです。

イエス様はそんな人たちをみてとても悲しまれたんだと思います。「神さまの思いは本当は違うのになぁ」と思ったんだと思います。だからイエス様は徴税人や罪人と言われる人たちと一緒に食事をしたんだと思います、きっと楽しい食事になったと思います。

はじめに病院の話をしましたね。わたしたちが病気になったとき、わたしたちは自分で行く病院を決めて、自分でそこまで行きますね。でもイエス様は違います。イエス様は私たちがどんな病気か、どんなお薬が必要か、私たちが自分で気がつく前にお気づきになり、そして私たちが行く前に、イエス様の方から来てくれます。イエス様は私たちのどんな所が弱っていて、何が必要かをご存知でいてくださるのです。そしてそこで食卓を囲むとき、聖餐式を守るとき、礼拝を共にするとき、祈るときに、私たちに弱っているところ、必要なものを教えてください。

完璧な人なんてどこにもいません。正しくないところが一つもない人もいません。お祈りの中で、自分たちの弱いところ、間違っているところイエス様にたずねましょう。そして必要なものを備えてくださるようにイエス様に願いましょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讚美歌は”こどもさんびか” (日キ版) より

53番

改訂版119番

やってみよう

イエスさまが一人ひとりを招いてくださっています。
感謝してお茶会を開きましょう。

♡ サンドイッチをつくらせて食べましょう



サンドイッチ用パン

人参ペースト



{ 人参のすりおろしにレモン汁と
塩・こしょうを加えて混ぜ。
マヨネーズで合える

サンドイッチ用パンにマーガリンと人参ペーストをぬり
重ねて、食べやすい大きさに切ってお皿に並べます。

※ 6月第2日曜日は子どもの日・花の日とも言われています。
みんなでお花を持ち寄り、お花の絵をつくり、施設や
病気の人を訪問しましょう。



折り紙の $\frac{1}{4}$ の大きさに
花を折ったり、切り紙にして
花の模様をつくらせたり...
画用紙に貼り、花束を
完成させましょう。

はなそう

- お友達から仲間はずれにされたことがありますか？ また仲間はずれにしたことは？
その時どんな気持ちでした？
- みんながイエス様を必要としているところ(弱いところ、問題があると思っているところ)って何？

★今週の聖句

「新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。」

マルコによる福音書 2:22

★ねらい

- ・イエス様以外の絶対はないということを知る。

★説教作成のポイント

- ・温故知新について調べてみる。
- ・イエス様の教えが新しい布、新しいぶどう酒であることを踏まえて日課をはじめから読む。

★豆知識

- ・ユダヤ教における断食…公のもの、個人的なもの、規定されていたもの等々（ゼカリヤ 7:3 以下、8:19）。
- ・新約聖書の断食…使徒言行録 13:2 以下、14:23。
- ・当時のぶどう酒の革袋は羊や山羊の皮を使用したそうである。

★説教

みなさんは「断食」というものを知っていますか？

そうですね、自分の意思で食べることを我慢することです。病気でご飯が食べられなかったり、食べるものがなくて食べることを我慢することとは違いますよ。では断食をしたことのあるお友達はいいますか？

そうですね、子どもが断食をするというのは聞いたことがありませんし、今では断食をする人自体、とっても少ないと思います。でもイエス様の時代はそうではありませんでした。神さまにごめんなさいという気持ちでする「贖罪の日の断食」というものがあったり、何か悲しいことがあってみんなでする「民族の不幸の記念の断食」というものがあったり、願いが適うまで続ける「断食」であったり、誰かが死んだことを悲しむために行う「断食」であったり、たくさんの「断食」がありました。そして断食のたいいどれもが「かなしい」とか「ごめんなさい」「つらい」といったような思いをあらわすものでした。

ですから、まじめに生きている人なら「ごめんなさい」や「つらい」といった思いをこめてする断食は日常的に行われるものであり、むしろ断食をしないのは、自分がよっぽど完璧だとおもっている人か、神さまをまったく信じていない人たちであると思われていたのです。だから、今日読んだ聖書にあったように「ヨハネの弟子たちやファリサイ派の弟子たちは断食しているのに、何故イエス様の弟子たちは断食をしないのか」イエス様にたずねたのです。するとイエス様は、ご自分のことを花婿にたとえられ「結婚式で花婿と一緒に座っている、そんなお祝いの席で断食するような人はいないでしょ、それこそお祝いするために集まっている人たちに失礼でしょう、婚礼の席に花婿と一緒に座っているんなら、一緒に食べて祝わなければ」とおっしゃったのです。

そして続けて「だれも、織りたての布から布切れを取って、古い服に継ぎを当てたりはしない。そんなことをすれば、新しい布切れが古い服を引き裂き、破れはいつそうひどくなる。また、だれも、新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはしない。そんなことをすれば、ぶどう酒は皮袋を破り、ぶどう酒も皮袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい皮袋に入れるものだ。」い言われました。

これは、まだ日光や雨風に触れていない新しい布は、それらに触れることによって繊維が収縮するため、継ぎあての役割を十分に果たすことができないことや、新しいぶどう酒は醗酵のスピードが速いために古い皮袋を使った場合、古い皮袋がすぐに破れてしまうという、違う性質を持つもの同士を合わせてはいけないという、当時の人たちの常識でした。イエス様はここで、旧約聖書の決まりであ

る「断食」を新約聖書の決まり（イエス様の教え）とあわせてはいけない、私の教えは新しい教えなのだ、新しい教えを古い教えで包み込もうとしてはならない。ということをおっしゃっているのです。古い教えも新しい教えも大切にしていきましょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讚美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

9番

改訂版 9 9番

やってみよう

◎ 2つのゲームをしよう!

よく知っているゲームを新しいルールで遊みましょう。
今までのルールは古いものになります。
新しいルールで自分のことだけを考えるのではなく、
みんなで助け合うことを考えてゲームをしましょう。

1. いすとりゲーム（従来のルール）



人数より椅子を少なくて椅子の周りを音楽に合わせて歩き、合図で一勢に座る。椅子に座れなかった人は参加できなくなり、椅子の数を減らしていき最後まで椅子に座れた人が勝ち。

2. みんなでいすにすわろうゲーム（新ルール）

人数より少し椅子の数を減らしておき、音楽に合わせて椅子の周りを歩き、合図で全員椅子に座るようにする。椅子の数が減れば減るほどどうしたらみんなが椅子に座れるか考えていきます。何人で何個の椅子に座れましたか？ 2組のチームに分かれて競ってみましょう。

はなそう

- ・伝統って大切？
- ・みんなは「かなしい」とか「ごめんなさい」「つらい」という気持ちを表すときどうする？
みんなのまわりではどうしてる？

★今週の聖句

「人が安息日のためにあるのではない。」

マルコによる福音書 2:27

★ねらい

- ・人が生きるうえで何が大切かを知る。

★説教作成のポイント

- ・イエス様は安息日を何のための日と捉えているか？
- ・ファリサイ派の人々は安息日を何のための日と捉えているか？

★豆知識

- ・安息日についての聖書的背景は、創世記 2:2、申命記 5:15。
- ・「供えのパン」…イスラエル 12 部族の分として 12 の和菓子がお小麦粉でつくられ、安息日ごとに神に供えられた（レビ 24:5-9）。

★説教

みなさんは疲れたときどうしますか？

おなかがへったときどうしますか？

神さまはどうだったのでしょうか？創世記の天地創造の物語を見てみましょう。神さまは一日目に「光あれ」と言って昼と夜を造りました。二日目、大空を造り水を上と下に分けました。三日目、海と陸を造り、草と木を造りました。四日目、太陽と月と星を作りました。五日目、鳥を造り魚を造りました。六日目、獣や家畜、地をほうもの、人を造りました。そして七日目、創世記 2 章 1 節以下には次のように書いてあります。「天地万物は完成された。第七の日に、神は御自分の仕事を離れ、安息なさった。この日に神はすべての創造の仕事を離れ、安息なさったので、第七の日を神は祝福し、聖別された。」

神さまは一日目から 6 日目までずーっと働いて、そして休まれたのです。疲れたから、おなかがへったからか、その理由はわかりませんが、とにかく神さまは休まれました。そしてこれが神さまが聖別された特別な日「安息日」となって、ファリサイ派の人たちや律法学者、イスラエルの人もみんな、この日を大切に守ってきました。しかし、ファリサイ派の人たちや律法学者たちは、この日は神様が聖別され、祝福された日だから、大切にしなければならない、ということばかり考えて、この日には何をしてはいけない、これをしてはいけない、等等、ルールでがんじがらめにしてしまいました。彼らは、神さまが何故休まれたのかを考えずに、休まれたことにだけ注目して、安息日をルールでがんじがらめにしてしまったのです。

イエス様はきっとそんな彼らに「あなたがたは大切なことを見逃していますよ」と言いたかったのでしょうか。そう、神さまは「安息」のために休まれたのです。安息とは「息が安らぐ」と書きまます。息が安らぐとはどういうことでしょうか？みなさん、ちょっと息を安らいでみましょう。そうですね、深呼吸のようなものかもしれませんね、息をゆっくりすって、ゆっくりはいて、整えることかもしれませんね。

ではルールでがんじがらめなところで深呼吸はできますか？リラックスして休むことができるのでしょうか？できませんね。そうなんです。イエス様は安息日は人が休むため、もっというなら人が第 1 日目から第 6 日目までをしっかりと生きることができるようになるための日であると言うことをファリサイ派や律法学者の人たちに伝えたかったのです。

さて、みなさんはどうですか？日曜日は、私たちが月曜日から土曜日までをしっかりと生きるた

めに必要なイエス様の言葉をいただくための日です。教会に来て心と体をリラックスして、たくさんイエス様の言葉をいただきましょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

11番

改訂版2番

やってみよう

安息日は神様のために使う日。神様にお献げする日です。
神様のために使うということは自分のためにでなく、礼拝を
したり、人のために何かをするなどいろいろ考えることができる。

◎ 教会のいろいろな人にインタビュー～



Q. 日曜日に教会で

神様にお献げするものは？

神様にいただくものは？

わけあえるものは？

どんなものがあるか子どもだけでなく教会の大人の人にも
聞いて、みんなで考えてみましょう。

豊かな祝福された安息日を過ごすことができますように。

はなそう

- ・学校の校則、どんなものがある？書き出してみよう！そしてそれが本当に必要かどうか話し合おう！
- ・人が生きるために必要なルールって何だろう？みんなで考えよう！